

- 1951年の第6回ユネスコ総会の決議を受けて翌1952年に創設
- 世界のあらゆる地域の社会科学や行動科学の実践や活用を発展させることを目的とし、その分野を国際的に代表する
- ユネスコに事務局を置き、世界の人文・社会科学系学術機関の総本山としての役割を果たす
- 国際地理連合、国際社会学会、国際政治学会、国際経済学協会など、約60の国際学会や国内学術協議会が加盟
- ICSU(国際科学会議)とともに2012年の国連持続可能な開発会議(リオ+20)において、国際的な地球環境研究プログラムであるフューチャー・アース構想を提唱し、ICSUとともにプログラムを主導



WSSF は、3年に一度、世界中から研究者や政策担当者、実務家が集まり、社会科学の最新の成果や課題を共有するとともに、将来の研究課題や政策を提案するためのフォーラムです。

2018年大会は、世界が直面している人間の安心、安全、生存基盤の確保という問題に迫ります。社会保障や地政学的な安全保障のような伝統的なテーマだけでなく、「バイオセキュリティ」「サイバーセキュリティ」なども含む広い意味での「セキュリティ」をキーワードとして、それが持続的にかつ平等に保障できるかについて3日間以上にわたって意見が交わされます。多様性を維持しつつ、平等と持続性の危機を打開するには、宗教などの価値観や政治・経済制度を多面的に議論する必要があります。大会を実のあるものにするには、あらゆるステークホルダーの参加が必須です。基調・招聘講演者も公開講座や座談会に参加して、市民との対話を試みます。また不足している知識やデータを明らかにして、今後の是正や収集方法なども議論されます。

WSSF2018はアジア初の大会です。日本のリーダーシップが期待されています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

WSSF 国内組織委員会委員一同

大会テーマ・サブテーマ

Security and Equality for Sustainable Futures

持続可能な未来のための生存・安全の確保と平等

1. Sustainability and security
持続可能性と生存・安全
2. Cybersecurity, cyberattacks, hybrid warfare
サイバーセキュリティ、サイバー攻撃、ハイブリッド戦争
3. Human security
人間の安心・安全
4. Security and the 2030 Agenda
生存基盤の確保と国連採択課題:
持続可能な開発のための2030アジェンダ
5. Globalization, diversity, and cultures of belonging
グローバリゼーション、多様性と文化的帰属
6. Development and inclusion in urban and rural areas
都市と地方を包摂する開発
7. Gender equality and security
男女平等と人間の安全保障
8. Health, safety and biosecurity
健康、安全とバイオセキュリティ
9. Freedom, democracy and security
自由、民主主義と安全確保